

論 文 内 容 の 要 旨

専攻名	経営意思決定 専攻	氏 名	張 崢光
題 名	中国における農村貸付の分析		
<p>論文内容の要旨</p> <p>「三農」問題は中国工業化、城鎮化における目立って大きな問題である。農民収入成長スピードが遅く、城郷収入の差が大きく、さらに、農村社会矛盾が厳しいというようなことは国民経済の安定な発展にマイナスに影響している。金融は現代経済の核心でもあり、農村経済発展は金融のサポートを離れて存立することができない。しかも、中国農村経済発展に存在する融資困難の問題は、農村経済発展を制約しているともいえる。したがって、農村融資問題の解決は「三農」難題を解決するキーである。このような状況に直面する中国農村部に貸付業務を展開する商業銀行はどう乗り越えるか、経営方針を調整するほかに、高利益を報得するため、最適な戦略はいったい何なのか、筆者は以上のような問題を意識しながら、中国農村部にいける銀行と農戸の関係と現在農村貸付の現状を勘案し、ゲーム・金融相互関連比率の基礎理論を再考察した。そして、その理由として、DEA の実証分析を通じて、それらの理論を援用して、改善提案を示すことを行ったのが本論文である。本論文の構成は、以下のとおりである。</p> <p>第1章、中国農村貸付の現状、では、中国農村金融歷程を把握した上で、農村金融と農民収入成長との関係、中国金融は農民収入成長に対して影響、金融と経済成長との正比例の影響関係で金融と農民収入成長との関係を直接について考察する。これに基づいて本論文が使った三種類の理論基礎を提案した。このような理論基礎を運用して中国農村金融の投入と産出を正確に理解し、中国農村金融効率に影響する要素を見つけられるように希望するためである。</p> <p>第2章、農村貸付のゲーム分析、では、農銀貸付関係を研究する為に、農銀貸付主体の双方と双方の関係を分析する必要がある。それによって、貸付資本という稀少資源をめぐって、どう分配するかは農銀双方に注目される問題であることが明らかになった。機会主義が存在している為、情報非対称の条件で、銀行と農民は自分なりのある行為を通して自分の収益を最大限にする或いはコストを最小限にする。本章は貸付分配の段階から現実の経済活動における情報非対称の原因で招いた銀行と農民との関係問題の解析を試みた。</p> <p>第3章、中国の農村部における金融供需分析では、中国国家として、農村経済の発展のため</p>			

氏 名	張 崢光
<p>に、農業技術の普及や農業後継者の教育問題などと並んで、あるいはそれ以上に、農村金融が重要であることを意識しているということを示すこととした。とりわけ、そこでは、経済発展の著しい中国沿岸部における豊富な(ある意味では過剰とも言える)民間資金を、資金欠乏気味の農村地域に振り向けることの重要性を意識しているものといえる。そして、同章では、中国吉林省吉林市昌邑区两家子乡李屯村の調査データに基づいて、中国の農村における需要状況を明らかにした。なお、2008年以前と2008年以後に分け、中国における農村への資金供給不足という実態を示したうちに、金融相互関連比率を計算し、中国における農村部の金融抑圧状態を判定した。</p> <p>第4章、中国農村金融貸付における DEA 分析、では、農村部への貸付の利用・活用は農村部の経済発展に何らかの影響を与えられていることも事実であるから、本章では、ある一定の条件付きではあるが、農戸あるいは農民にも好影響を与えることを示そうと思う。そのため、本章では、中国における農村金融貸付業務に対する各省の視点を中心として、有効な業績評価指標を導入し、データ包絡分析法(Data Envelopment Analysis、以下 DEA と略称する)の方法を用いることにより、それら業績評価指標の関係性を定量的に把握する。そして、経済効率および経済効果に関する新たな評価を提示する。</p> <p>第5章、中日金融機構の比較に関する分析、では、日本経済の発展は全世界の目に明らかで、アジア経済の全体で重要や役割を果たしていること、また、中日両国は共に東アジアの国家であり、自然条件、歴史条件など多くの面で似ており、農業生産経営の主要方式が全部个体農民を基本単位とすることから、農村金融発展の状況から見れば、日本の農村金融の発足時間が比較的早く、発展の比較的成熟し、その協同金融もさらにたくさんの国家の発展手本になったことに着目した。したがって、中日農村金融の発展状況を研究して比較して、その発展経験を研究することは、中国農村金融制度をさらに完備して三農発展を促進することにとって重大な意味がある。</p> <p>第6章は、結論と提言、である。そこで筆者は、中国の農村貸付のため、本論文の全章分析の結果をまとめることを通じて、論文の分析結果から得られる判定を試みた。また、現在中国における農村貸付の発展現状を考えた上で、筆者は農村貸付における最適な改善方向を提言した。</p>	